



スーパーフォーミュラ JAF 鈴鹿グランプリ

2019年10月27日(日)

10月27日(日)にJ SPORTS とケーブルテレビ3局合同の全日本スーパーフォーミュラ第7戦『JAF 鈴鹿グランプリ』の観戦イベントを開催いたしました。今回はアジア最速とも呼ばれる全日本スーパーフォーミュラ選手権の最終戦を、ホスピタリティテラスで観戦できるイベントとあって、600件以上のご応募があり、その中から当選された40組80名の皆さまにモータースポーツを満喫していただきました。その様子をご紹介します！



7:30 受付開始

ゲートオープン後、国際レーシングコースのセンターハウスにあるホスピタリティテラスまで、皆さん迷わずゾクゾク到着。イベント開始前には、ほとんどのお客様が受付を済ませ、ホスピタリティテラスの観戦席からの眺めをチェック！ 目の前に見下ろせるメインストレートに期待が高まります！！



滋賀県からお越しのお客さまも！ みなさん、朝早くありがとうございます😊

ホスピタリティテラス席からの眺め❤️

8:00 イベント開始

イベントの内容をご説明するはずでしたが、ここでアクシデント。テスト走行中の爆音が想定以上で、拡声器を使っても全く聞こえず… あまりの聞こえなさに皆さん、思わず苦笑い😅 急遽、イベント開始時間などを紙に書いて筆談で進めていきました。



8:30 サーキットツアー

普段は入ることのできない国際レーシングコースの「ウラ側」をみることのできるツアーに出発。4班に分かれて、ピットビル内にある大会事務局のオフィスへ。センターハウスの模型や、ブリーフィングルームと呼ばれる記者会見場、表彰台の裏側や、レースコントロールルーム、計時室、メディアセンターなどを見て回りました。皆さん、レース関係者気分を味わえたかな？



コースの模型



ドライバー気分で記念撮影！

本田宗一郎さんの逸話も交えつつ、鈴鹿サーキットができるまでの説明をしてもらいました。



表彰台の裏側には、優勝カップやシャンパンの見本が置いてあります。こんな大きなシャンパン、絶対飲みきれませんね。



コースカメラの映像が一望できるレースコントロールルーム



レース前なのでのんびりムードなメディアセンター

12:15 ピットウォーク

レース前のピットレーンで各チームのマシンを間近に見ることができ、ドライバーのサインや、ここでしか手に入らないグッズをゲットできるチャンスが！



前にシャーシを置いて中の様子が見えなくしているチームも。



サインに応じるドライバー



ピットレーンを WTCR のレース中にクラッシュした車が通過。



今まさにピットクルーたちが作業中です。



レース中継でよく見るサインエリアボックス。今は無人です。



TCS 中島レーシングのピット前には、あの中島悟がっ！



ポールポジションをとったアレックス・パロウがサイン攻め

13:00 すぎ 昼食

レース前にランチタイム。お弁当をホスピタリティテラスでいただきました。その間もホームストレートのグリッド上では最後までマシンをチェックしていました。



近藤レーシングチーム監督の近藤真彦！

14:00 決勝レーススタート



シグナルが消え、スタートの瞬間！

スーパーフォーミュラの決勝は43Lapsでゴール、または最長90分のレースです。観戦はホスピタリティテラスの席はもちろんですが、激感エリアと呼ばれる至近距離でレースを観戦することもできます。皆さん、センターハウスからシャトルバスで移動したり、直接歩いていける S 字コーナーや2コーナーへ行ったり、いろんな場所でレースを楽しんでみえました。



15:18 レース終了

レース結果は予選 2 番手からスタートした野尻選手が優勝、2019 年のシリーズチャンピオンのタイトルは、ニック・キャシディが獲得しました。そしてこの決勝レースの終了をもって、今日の観戦イベントも終わりとなり、「これから遊園地で遊んでいきます！」という方や、グランドスタンド前で行われている表彰式を見に行ったり、ホスピタリティテラス席でレースの余韻を味わったりと、皆さん思い思いの場所へ向かわれました。

グランドスタンド前の特設で行われた表彰式



スタッフより

今回、初めてのモータースポーツ観戦です！という方や、レースは何回か観戦してたけど、こんな席で観戦できて楽しめました！というお言葉をいただきました。朝早くからあつという間のイベントでしたが、それぞれに楽しんでいただけたら幸いです。今回ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。